北海道大学
教育学部
学部案内

Hokkaido University School of Education

北海道大学
教育学部

〒060-0811　札幌市北区北11条西7丁目
TEL: 011-706-3494
（教育学事務部教務担当）

https://www.edu.hokudai.ac.jp

2021.3

人間の科学

としての

教育学を追求する

北海道大学教育学部は、
社会の担い手として幅広い視野を持った人を育んでいくために、
教職員一丸となって、研究・教育を行っています。

北海道大学教育学部からのメッセージ

教育学の専門的な研究・教育の場

北海道大学教育学部は大学院の教育組織である教育学院、研究組織としての教育学研究院とともに、「発達と学習の現代的課題にこたえる教育学の創造」を目的にして研究・教育を行っています。この目的に沿って学校教育だけでなく、家庭・地域・企業など社会の様々な領域での教育の問題を扱っています。学校や社会における心や体の発達・学習についての研究・教育も重要な領域としています。

教員免許を取得し卒業後に学校教員となる学生もいますが、北海道大学教育学部は、教員養成を主たる目的とするのではなく、教育学の専門的な研究・教育を目的とした「教育学系」の学部です。

教育学部4年間の履修の流れ

<table>
<tr><td>一年次</td><td colspan="2">二年次</td><td colspan="2">三年次</td><td colspan="2">四年次</td></tr>
<tr><td>一学期・二学期</td><td>一学期</td><td>二学期</td><td>一学期</td><td>二学期</td><td>一学期</td><td>二学期</td></tr>
<tr><td rowspan="4">全学教育科目</td><td colspan="5"></td><td colspan="2">卒業論文</td></tr>
<tr><td colspan="5">教育学基礎演習
専門演習 Ia
専門演習 Ib
専門演習 II</td><td colspan="2">専門演習 III</td></tr>
<tr><td colspan="7">調査実習・実験実習</td></tr>
<tr><td colspan="7">専門科目</td></tr>
</table>

多様なバックグラウンドを持つ教授陣と少人数教育

教育や発達は幅広い内容をもっていて、アプローチの仕方も多様です。そのため、狭義の教育学をベースにした教員だけでなく、心理学、社会学、社会福祉学、社会政策学、体育学、医学、運動科学などを学問の基礎にしている教員もいます。多様な教員によって、幅広い内容の学問が展開され、総合的な形で研究・教育を行っているのが、本学部の特徴の一つです。

教育学部は1学年が50人～60名と小規模で、この点を生かして、少人数の演習による教育を重視しています。2年次から演習(ゼミ)が始まります。

様々な道で活躍する卒業生

教育学部の卒業生の就職先も多様で、教師を始めとする教育に関わる専門的な職業だけでなく、公務員や一般企業を選ぶ人もいます。最近では、一般企業の人材育成を始めとした人事・総務の部門に配属されることが多くなっています。また約3割が大学院へ進学して研究を続けています。

教育学部の４年間

1年次は全員、総合教育部に所属

北海道大学では
多様な入試で学生を受け入れています。
北海道大学に入学した１年生は全員、
「総合教育部」に所属して
教養科目や基礎科目を学びます。

私たちが北大教育学部の
4年間を紹介します！

少人数で、横にも縦にも
つながりが強いのが
魅力です！

齋藤 めぐみ ３年生　　大木 隆史 ３年生

案内役

年次

クラスで仲間をつくる

教育学部の２年生の先輩方がオンラインで１年生同士の交流の場を設けてくださったので、対面で会う機会が少ない中でも仲を深めることができました。

中堂薗 紗世 １年生

- 「総合教育部」では学生が所属する基礎集団（クラス）がつくられます。
- 全国各地から入学した学生が新しく人間関係をつくることができる場所となっています。
- 学部別入試で教育学部に入学した学生は、5組（30名）に所属します。
- 総合入試文系で入学した学生は、総合文系の14・15組（100名）に所属し、1年次終了後に教育学部へ移行した場合、2年次から教育学部に所属することになります。
- それぞれのクラスには、クラス担任・副担任の教員がついて、みなさんの相談に応じます。
- 5組のクラス担任・副担任は、教育学部の教員が担当します。
- クラス単位で参加する新歓クラスマッチや北大祭などの行事もあり、クラスメイトとの絆が深まります。

4月 新歓クラスマッチ

1年生のクラス対抗大運動会！
クラスでお揃いのTシャツを作って盛り上がります。

6月 北大祭

1年生のクラスごとに模擬店を出店！ その他、いろいろな学部・学科の展示、留学生によるお店も並び、キャンパスは多くの人で賑わいます。

1年生は総合教育部の所属になり、幅広い分野の授業を受けられます。心理学や哲学の授業が特に楽しかったです。

渡邉 あかね　１年生

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施されなかった行事があります。
学生どうしの交流や情報交換はオンラインを活用して行われました。

4月 新入生歓迎合宿

教育学部のメンバーとなった、学部別入試で入学した30人、2年次に総合入試から移行してきた20人、3年次に編入・転部入学してきた10人を歓迎する合宿です。この合宿の計画・運営は、学部3年生が構成する実行委員会がすべて担います。先輩学部生の他、教員、ときには院生も参加して行われます。先輩、先生方と、学年を超えた交流の輪が広がります！

全学教育の授業では、他学部の人と一緒に授業を受けるので、新たな友人作りはもちろん、色々なタイプの人と話せて楽しいです！

池田 伊織　１年生

総合教育部の授業

様々な専門分野の教員の授業を受け、幅広い教養を身につけます。

全学教育科目（一部）

教養科目	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）	20人程度で行う演習。文献講読・発表(プレゼン)・討論など大学での学び方を実践的に学ぶ
	総合科目	学問分野を超えた問題を扱う文系・理系を問わず複数の教員が連携して行う講義
	主題別科目	各分野を専門とする教員による講義
	外国語科目・外国語演習	世界とのコミュニケーション、研究に必要な外国語力を身につける講義・演習
	共通科目	体育学、情報学、統計学、インターンシップ
基礎科目	人文・社会科学の基礎	文系の新入生向けの講義
	心理学実験	人間の心理を客観的にとらえる方法を学ぶ

どうして北大教育学部へ？

中堂薗 紗世・1年生（愛知県）学部前期

公認心理師になりたいから。学部卒業後の大学院進学を視野に入れて、北大教育学部に入学しました。

池田 伊織・1年生（札幌市）学部前期

教育だけでなく運動や児童の発達について学べるところと、学部内の仲がよさそうなところに魅かれて、北大教育学部を選びました。

渡邉 あかね・1年生（札幌市）学部前期

本格的に教育学を学べて、かつ実家から通えるところにあったので。先輩方の仲の良さそうな雰囲気にも魅力を感じました。

深海 貴之・1年生（東京都）学部後期

教員養成ではなく教育学を学ぶことができるから。キャンパスは札幌駅から近く、とてもきれいだと高校の先生から聞いて。

白石 光・1年生（兵庫県）学部後期

福祉学や社会学に関連した教育学の研究が活発に行われていたから。オープンキャンパスで模擬ゼミを受けて受験を決めました。

教育学部の４年間

2年次

新しいメンバーを加える

2年次進級時、
総合入試の学生から
20名が教育学部へ
移行してきます。

菅原 潤 2年生　　田中 愛実 2年生

いよいよ専門科目の講義や演習、実習が始まります！

2・3年次の授業		
必修科目	教育学基礎演習	
	教育学概説	教育の自由・権利と法
		教育の歴史
		教育の思想
		教育の内容と方法
		人間の発達と学習1、2
		教育と社会1、2
		健康体育と衛生1、2
	専門演習→各ゼミの紹介はp.17-24に	
選択必修科目	教育基礎論（講義・調査実習）	
	教育社会科学（講義・調査実習）	
	教育心理学（講義・実験実習）	
	健康体育学（講義・実験実習）	
選択科目	教育学特別講義	
	教育学国際講義	

総合文系として入学して2年次に移行してきたのですが、不安になる必要が全く無いくらい、みんな優しく接してくれます。

若野 舞乃　2年生

2年次後期に専門演習（ゼミ）を複数受講します！

2年次後期より専門演習（ゼミ）を受講。本格的にゼミに所属する前に専門演習を複数受講し、さまざまなゼミの研究に触れることができます。複数のゼミを受講しやすいように、1つのテーマを1コマ（90分）で行います。

教育に携わってきた先生方なので、私たち学生のことをよく考えてくれています。心理系から体育学系まで幅広く学ぶことができます！

蛯名 美乃里　2年生

移行歓迎イベント

教育は誰しもが関わる分野なので学んでおいて損はない！ 教員以外の就職先もたくさんあります。

金子 新太郎　2年生

いろいろな分野のゼミを一度に取ることができるのが魅力的です！

遠藤 亮太郎　2年生

2年次後期の時間割例

	月	火	水	木	金
1			近現代学校史		青年期教育論
2	教育思想史		外国地誌（文学部）	教育社会学	生涯学習論
3		臨床心理学	青年期教育（専門演習）	教育福祉論	学校社会学
4		教育臨床心理学（専門演習）	体育社会学（専門演習）	教育福祉（専門演習）	
5					
6					

教育学部の先生方はとても優しいです！授業がオンラインになったときも、生徒一人一人に連絡を取ってくれたり、たくさんサポートしてくれました。

菅原 潤　2年生

どうして北大教育学部へ？

遠藤 亮太郎・2年生（宮城県）学部前期

高校生の頃から臨床心理士になりたいと考えていて、そのためのカリキュラムが充実していた北大教育学部へ。現在は公認心理師も志望。

蛯名 美乃里・2年生（青森県）学部後期

先生になる夢をもってから教育学部に行くと決めていました。国公立大学で後期日程に教育学部があるのは北大だけでした！

田中 愛実・2年生（札幌市）学部前期

オープンキャンパスに行った際の雰囲気がとても良く、教育学部なら楽しい大学生活を送れそうだと思い、受験を決めました。

菅原 潤・2年生（石狩市）学部前期

元々教育に興味を持っていたけれど、教師になりたい思いよりも教育について学びたい思いが強く、北大教育学部に入りました。

若野 舞乃・2年生（埼玉県）総合文系

ずっと関東に住んでいて北海道の地にあこがれがありました。公認心理師の受験資格が取れると知り、北大教育学部に決めました。

金子 新太郎・2年生（札幌市）総合理系

今まで自分が受けてきた教育環境を深く見直し、海外の教育と比較したいと思い、総合理系から文転して教育学部へ。

教育学部の４年間

3年次

転部・編入の10人が教育学部に合流！

ゼミへの本格的な所属が始まる！

櫻田 真妃　3年生

人数が少ないので先生との距離が近いです。学生が使える施設も充実しています！

島袋 秋人　３年生

ゼミに留学にいろいろなことに挑戦できる！

影山 奨　3年生

ゼミでの経験は大きい！

ゼミって？

ゼミとは「少人数で行う専門性の高い授業」のことです。学生は自身の興味・関心に応じて好きなゼミに所属します（30以上のゼミの中から、希望のゼミに入ります）。同じゼミの学生とは学年に関係なく、とても仲良くなれます！
ゼミの特徴は、各分野のプロフェッショナルである先生方と、同じ机で、同じ高さの目線で行われるということです。先生方と一緒に文献を読んだり実験をしたりすることを通して、それぞれの分野の基礎理論や研究方法を学びます。

保健体育の教員免許が取れます！

大杉 康平　3年生

学部の授業を受けているうちに、心理学への興味が沸き、心理系のゼミを選択しました。自分が抱いていたイメージとは異なるアプローチから教育について学べます。

常本 萌々花　3年生

3年次後期の時間割例

	月	火	水	木	金
1	言語発達論				発達心理学（実験実習）
2	乳幼児発達論（専門演習）	言語発達論（専門演習）			発達心理学（実験実習）
3	産業教育論	身体運動システム論			体育社会学
4		教育臨床心理学（専門演習）	発達心理学（専門演習）		
5					
6					

地方の活性化と教育の関係に興味を持ち、基礎系のゼミを選びました。現在は政治教育にも興味があります。

伊藤 理貴　３年生

留学にも挑戦！

北大教育学部には独自の留学支援プログラム(ESD)があります。主に2、3年生が参加します。（写真はESD参加時のひとコマ）　→詳しくは、p.15-16に

留学のためのプログラムがあり、授業と平行して海外に行くことができます！

どうして北大教育学部へ？

常本 萌々花・3年生（札幌市）学部前期

教育関連の仕事に興味があったからです。自分のイメージにはなかったアプローチで教育について学べることに惹かれました。

大杉 康平・3年生（富山県）総合理系

理系で入学しましたが、教育が面白そうだったので教育学部へ。理系で入学しても文系学部に行けるのは北大の魅力だと思います。

大木 隆史・3年生（長崎県）学部後期

教育学という学問と、北大の伝統と実績、環境の良い美しいキャンパスに惹かれたので北大教育学部を選びました。

島袋 秋人・3年生（沖縄県）総合文系

沖縄では降らない雪を見たいと思い北大へ。高校生の時に感じた教育の地域格差や不平等について学ぶため、教育学部を選びました。

影山 奨・3年生（静岡県）学部前期

北大キャンパスにあこがれがあり、オープンキャンパスに参加。そこでの先輩の話が面白く、北大教育学部に決めました。

櫻田 真妃・3年生（秋田県）3年次編入学

教育学部で幅広く専門的なことを学びながら、興味のある分野を新たに見つけたいと思い、北大教育学部に編入しました。

教育学部の４年間

4年次

集大成の１年間

卒業論文に取り組みます！

卒業論文

教育学部では卒業論文が重視されます。問題意識の設定、先行研究の検討、研究課題の明確化、資料やデータの収集、論文の執筆、完成した論文の発表まで、学生が指導教員の示唆を得ながら、自らの力でやり遂げることを基本にしています。論文の発表は、学部の構成員全てに公開される形で行われます。論文発表までの道のりは平坦ではありませんが、その過程で大きな力を身につけていきます。

教育学部の卒業論文テーマは幅広いです！→p.18−24

4月 Apr.
- 就職活動
- 教育実習（実習先によって異なります）

5月 May

6月 Jun.
- 卒論テーマ決定

7月 Jul.
- 大学院入試（前期）

8月 Aug.
- 教員採用試験

9月 Sep.

10月 Oct.

11月 Nov.

12月 Dec.
- 卒論提出

1月 Jan.
- 卒論発表会
- 大学院入試（後期）

2月 Feb.

3月 Mar.

卒業式

今の社会で
一番大切なのは
教育じゃないかな

コロナの影響で実習や訪問はかなり制限されましたが、先生方、また母校のおかげで、教職授業と教育実習はほぼ通常通りに行うことができました。４年生になると就職への実感が湧き、真剣味が増したと思います。

飯田 瑛貴　４年生

卒業論文への取り組みは、大学での学びの総まとめとして、考えていたこと、分かったこと、分からなかったこと、自分の思いをぶつけた貴重な時間でした。終わった時の達成感と不完全燃焼感。次なる学びへのモチベーションが上がる感じが心地よかったです。

岡本 愛香　４年生

どうして北大教育学部へ？

錦川 拓海・4年生（旭川市）3年次編入学

研究を深く行いたくて、教員養成系の大学から編入学しました。自分の関心のある分野の教授と出会うことができました。

岡本 愛香・4年生（宮城県）総合理系

理系で入学しましたが、なんとなく心理系や社会系の研究をやりたくなり、思い切って教育学部へ文転しました。

飯田 瑛貴・4年生（東京都）学部後期

一人暮らしがしたくて北大へ。教師になろうと考えた時に、教員養成よりも教育学をまず学んでみたかったから。

三栗谷 皓我・4年生（東京都）総合文系

文系の中でも教育学部が特に幅広い分野が学べ、分野が広い分、様々な考えを持つ人と出会えると思ったから。

尾崎 里帆・4年生（札幌市）学部前期

興味のある体育や障害について学べると知ったから。また、保健体育と特別支援の教職を取りたかったので。

湊 珠希・4年生（札幌市）学部後期

教師へのあこがれがある一方で、学校教育のあり方に疑問があり、教員免許取得と教育学のどちらもできる北大教育学部を選びました。

学びのキーワード：労働、ジェンダー

男性も女性も「良い仕事」ができて自分の生活も大切にできる社会を考える

職業能力形成論　駒川 智子

卒業論文テーマの検討会の様子

工場見学の様子

人生の中で、働くことに費やす時間はとても長いですし、お金を得るだけではなく、やり甲斐など大きな意味を持つものです。学問として労働の研究に触れておくと、職場で何か理不尽だと感じた時に、その理由や制度の問題を読み解く力が付きます。また、解決方法や相談先もわかります。

仕事でも生活でも、その人個人の良さが活かされる社会へ。そのために、社会への影響力が強い企業の特に雇用管理にメスを入れようとしています。

大学は経済学部に進学。実家が商売をしていた影響から、自分も起業するか、専門職に就こうと考えていました。とにかく女性であっても自立して生きていけるよう、自分でお金を稼ぎたいと思っていました。

しかし卒業前にバブルが崩壊。するとどんなに優秀であっても女子学生たちの就職が決まらないという現実を目の当たりにしたのです。男子学生は就職が決まっていく。はっきりと男女差別がありました。また、大学3年生の時に受けた社会政策の授業で、日本企業の雇用管理に男女差別が含まれていることを知り、憤りを感じました。この問題を知らないで社会に出て行くわけにはいかないと思って大学院に進学し、修士課程では、社会政策の領域で研究をしました。

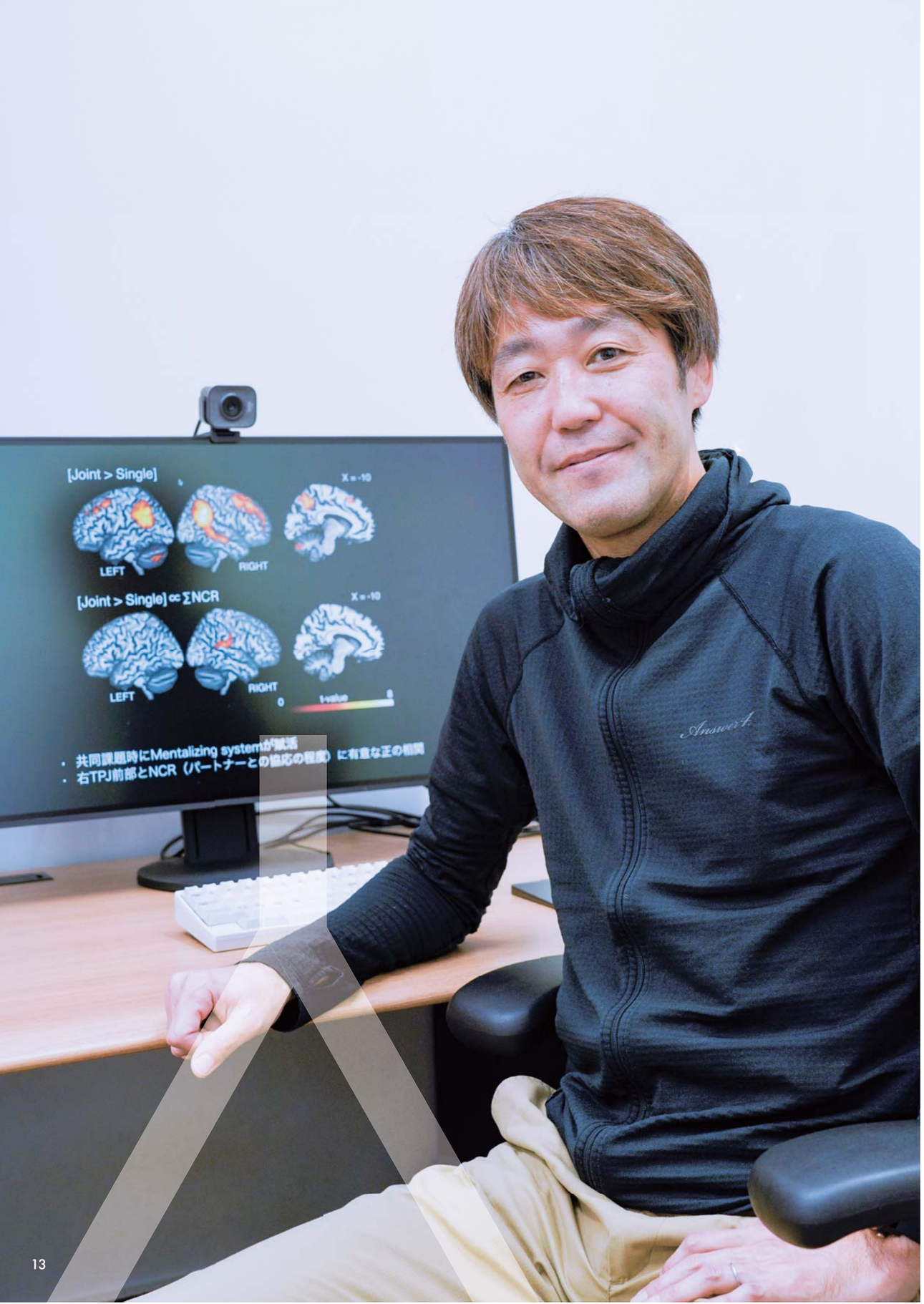
博士課程に進学して研究者になることを決めたきっかけは、阪神淡路大震災です。この時「一度しかない人生。自分が本当にやりたいことをやろう！」と思いました。博士課程では、社会構造だけでなく、人を重視した研究ができる社会学を選びました。

博士課程修了後、北大教育学部の教員となりました。学問分野は経済学、社会学、教育学と移り変わっていますが、一貫して労働とジェンダーの問題に取り組んできました。教育学の立場は、「人を管理する」ではなく「人を育てる」という視点がより強いことが特徴かもしれません。さらに今後は、ジェンダーだけでなく、外国籍スタッフなどを含めたダイバーシティマネージメント、インクルージョンという視点で研究を広げていきたいと思います。

教育学部の卒業生が民間企業に就職した場合、現場を経験しながら高い割合で人事部に配属されます。人が好きな人の多い教育学部生ならではで、気持ちよく働いてもらうための雇用管理や研修への知識や意欲が高いと聞きます。

世の中が大きく変わろうとしている今、何が正解ということはありません。自分がどんな人生を生きるかを自分で考えて、行動できる力を身につけてほしいと思っています。

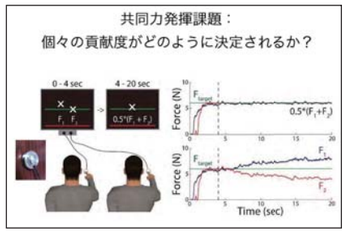
※左ページの写真で後ろに見えるのは、見学に行った染工場から贈られた大漁旗



学びのキーワード：運動制御、運動学習、認知科学

実験で解き明かす
心の動きと体の動きの関係

身体運動支援システム論　阿部 匡樹



2人でボタンを押す力の合計を一定に保つ実験

笑顔でいることは相手の表情の判断に影響するか？

例えば誰かと一緒に1つの机を運ぶ。この時、あなたとその相手は、お互いの力加減などの状況をみながら自分の力をコントロールしています。このような他者との共同作業は、日常のさまざまな場面で起きています。その時に強く活動する脳の領域を、2台の磁気共鳴装置（MRI）を使って2人同時に調べるという、世界的にもあまり例のない実験を行いました。すると、相手の心情を思いやる時と同じ領域で、脳の活動が活発になっていたのです。

中学時代、陸上競技の試合で、プレッシャーに負けて実力を発揮できない時期があり、心と体の関係に興味を持ちました。北大に入学後、授業を受ける中で人間の心について学びたい気持ちが芽生え、ヒトを対象にした研究を行っていた教育学部に移行しました。

その後、運動そのものに関心が移り、身体運動科学ゼミで人の運動はどのように行われているのかを研究しました。当時、東京で世界陸上が開催された際、科学班がカール・ルイスの走りを最新の技術で解析した結果が衝撃的で刺激を受けたのです。

北大で博士号を取得しつつ、国立リハビリテーションセンターの研究所に就職。そこで重心動揺や筋活動を計測・解析する手法を学び、加齢や運動機能障害によって立つことや歩くことに困難がある方を支える研究に従事しました。

3年半ほど働いた後、歩行のような基本的な運動から、より高次な運動（狙ったところに正確に指先を動かす、モノを投げるなど）を扱う運動学習の研究を行いたいと思い、アメリカに渡りました。運動学習の分野で知覚と運動の相互作用を研究するうちに、運動だけでなく心や思考への作用も含む認知科学の分野に興味を持ち、東京大学で認知科学に関係したプロジェクトの研究員になりました。

冒頭で紹介した他者との共同作業の研究は、経験してきた幅広い研究から生まれました。気づけば、初めに興味を抱いた心と体の関係を解き明かそうとしています。運動とそれに関わる知覚情報を解明することは、感覚・運動障害、発達障害、高齢化社会、技能習得などさまざまな社会支援に役立ちます。

ただ、研究の出発点として大事にしているのはテーマの「面白さ」ですね。クスッと笑えるけど、よく考えるとそれ重要だよね、という研究をすること。イグノーベル賞をとりたいと思っています（笑）。

仕事においても人生においても、人間を知るということは非常に重要です。教育学部で行われている人間に関する研究は、将来どの職場に行っても役に立つでしょう。学びを通じて、相手の立場に寄り添えるような人になってほしいと願っています。

世界の課題解決に貢献できる人材を育成する

ESD

社会の持続可能な発展にとっての教育のもつ役割を考える

ESD（Education for Sustainable Development）Campus Asia・Pacificプログラム

北海道大学教育学部は、2011年よりESDキャンパスアジアプログラムとして、アジアの４大学（高麗大学校、ソウル国立大学校、北京師範大学、チュラロンコン大学）と双方向型の留学支援事業を行ってきました。2016年度からは、サハリン国立大学も参加校に加わり、「ESDキャンパスアジア・パシフィック」としてさらにESDの世界が広がりました。加えて、2021年度からはこのプログラムの履修者および新規受講者を対象とした大学院におけるESD Leaders Global Education プログラムが開講されます。

Buddy Program （双方向型）

1 アジア・パシフィックの5大学から4名ずつ20人の留学生が、北海道大学教育学部へ ←---------- 10日間

夏、プログラムに参加する北大の学生は、ホストとして空港まで出迎え、その後、教室の中だけでなく、生活を共にしながら互いに交流を深めます。

2 北海道大学教育学部の学生20人が、アジア・パシフィックの5大学に4名ずつ短期留学 ←---------- 10日間

秋から冬、今度は北大の学生が現地の学生のサポートを受けながら各大学に滞在します。ESD関連の集中講義が開かれ、短期留学を経験します。

3 ESDリーダーを養成するプログラムを2021年度から開講 ←---------- 10日間

ESDプログラムで学んだ学部の履修者および新規の受講者を対象としたESD Leaders Global Education プログラムへの道も2021年度から開かれることになりました（大学院のプログラムです）

ESD参加者の声

後藤田 帆夏（3年生）

ソウル国立大学校へ

他国の学生と交流して刺激を受けることは、今後の生活に活きると考え参加しました。留学生の英語能力やプレゼンテーション能力、グループワーク能力の高さが印象に残っています。訪問先で環境問題について学び、環境問題は世界的な問題で、他の国と協力して解決しなければならないと改めて感じました。

鹿内 統音（3年生）

北京師範大学へ

北大での受け入れでは、空港の送り迎えやプログラム中の食事など共に過ごすことで仲が深まりました。今でもSNSで連絡を取り合っています。派遣先のプログラムではフィールドワークで様々な場所に行くことで、学生だけでなく多くの現地の方と交流ができ異文化理解につながりました。

今野 夏菜絵（3年生）

チュラロンコン大学へ

想像以上に多くの海外の学生が北大に集まり、交流を通じて多国籍の友人ができました。また、英語でコミュニケーションをとれたことが実感でき、自信につながりました。今でも連絡を取り合い、様々な情報交換ができていることはとてもうれしく、参加して良かったと今でも感じます。

森 有紀（3年生）

サハリン国立大学へ

金銭面・手続き面でのサポートが魅力的でした。留学先では英語が大学の一部の先生と生徒にしか通じず、カフェで覚えたてのロシア語で注文してみたり、「いいえ」の言葉だけ聞き取れて落ち込んだり……。でも、複数の現地の学校に視察に行く機会もあり、価値観が大きく揺らぐ経験ができました。

さらに本格的な長期留学へ

北海道大学は、海外51の国・地域の199大学等（令和2年10月現在）と大学間交流協定を結んでいます。これとは別に、教育学院・教育学部は12の大学と部局間交流協定を結んでいます。

大学間あるいは部局間で、学生交流協定を結んでいる大学（協定校）には、1学期間あるいは1年未満の「交換留学」をすることができます。また、留学中に協定校で取得した単位は、所属部局が認める範囲内で単位として認められます。これによって留年せずに留学ができるようになっています。また、北海道大学に授業料を納めていれば、留学先の大学では授業料の徴収がありません。手厚い留学支援で、海外留学を後押しします！

長期留学体験者の声

充実した留学プログラムで一生ものの経験を

内田 向日葵

ESDプログラム：ソウル国立大学校（2018年度）
長期交換留学プログラム：サハリン国立総合大学（2019年12月～2020年3月）

長期留学を決めたのは3年生の4月。尊敬する先輩に薦められたことと、留学先で取得する単位も大学の卒業単位に含まれることが、長期留学を決めた大きな理由です。また北大教育学部の留学プログラムでは、留学に際して奨学金がでることも参加を後押ししました。

留学先のサハリン州の州都ユジノサハリンスク市は、近年目覚ましい発展を遂げている街です。街には大きなショッピングモールもあり、生活に困ることはありませんでした。また、移民が多く住んでいる街なので、料理店などからも多様な文化を感じます。大学の先生方や学生はとても優しく、困ったことがあるといつも私達を助けてくれました。

授業では英語でのプレゼンテーションを沢山行いました。日本の就学前教育の問題点について1人で1時間発表したときは心が挫けそうになりましたが、ゼミでの勉強や、北大独自のプログラムである新渡戸カレッジでの経験が活かされ、何とかやり遂げることが出来ました。この「やりきった」という経験は、自分にとって大きな自信となったと思います。また、大学外の教育施設を見学する機会が多くあり、ロシアの教育を肌で実感できました。中でもロシアの子ども達に日本の折り紙を教える先生になったことはいい思い出です。
今後も留学での経験を活かして、外国語の勉強を続けたいと考えています。そして、いつかまたロシアを訪れたいです。

海外留学の中では大変なことも沢山ありますが、その分得られる経験や知識は一生ものです。興味がある方はぜひ挑戦してみてください！ 北大教育学部には、皆さんの挑戦を後押しする体制が整っています。

Introduction to Courses:

各ゼミ紹介

Fundamental Theories of Education
Social Sciences of Education
Educational Psychology
Sciences of Health and Physical Education

教育基礎論分野

“学び”の革新。“教え”と“育ち”の相互関連。
人々の成長を支えるしくみを探求する。

教育思想　担当教員：白水 浩信

教育について語ることは、いかにして可能か?

西洋の教育思想史をひもとくとき、一口に「教育」と言っても、education、instruction、discipline、formation等、様々な語彙があります。古代から近代にいたる教育言説の軌跡を語彙基板の変遷という観点から、いつ、誰が、どのような文脈で語ったのかということについて研究しています。

●卒業論文テーマ：
「シエイクスピア戯曲における狂気の教え」「バーナード・マンデヴィルの教育論―慈善学校論および「恥」論を糸口に」「〈祭典〉装置としての〈公教育〉―カバニス『公教育論』第二章の分析を中心に」

教育史　担当教員：北村 嘉恵

教育の「常識」のラディカルな問い直し

たとえば「現代教育の病理」とされる現象について、処方箋を急ぐよりは、教育の生理現象のひとつとして、時間的・空間的に視野を広げて捉え直してみたい。異なる時代・地域の側に視点をおくことができれば、自分の日常や問題状況もこれまでと違って見えてくるはずです。

●卒業論文テーマ：
「幕末維新期の服装改革と『男らしさ』の再編成」「近代日本における読書行為」「戦時下知識人の動員」

学校史　担当教員：近藤 健一郎

教育・学校について歴史的視点から考える

6歳になったら小学校に入学するということから始まる、疑われることのない教育・学校の「常識」に私たちは囲まれていて、そこから自由になるのは容易ではありません。だからこそ、教育の現状を理解し、「問題」の根源に立ち返り未来を展望することをめざします。

今も残る「奉安殿」(沖縄県石垣小学校)。
中には何が入っていたでしょうか。

●卒業論文テーマ：
「戦時下の北海道における『教育』の実態―農村を中心に」「『いじめ』の歴史的形成過程」

教育行政学　担当教員：横井 敏郎

子ども・若者の学びと成長を支える教育行政・制度を探る

子ども・若者の学びと成長を保障する教育行政・制度を研究しています。学校や教職員の配置、教育財政、国・地方自治体での教育政策決定システム、困難を抱える子ども・若者を支援する教育制度・政策などの研究を、現場調査、国際比較などの方法で進めています。

●卒業論文テーマ：
「教育政策形成における内閣府教育諮問機関の研究」「教師の超過勤務と法的問題―給特法 の問題性について―」「外国にルーツをもつ子どもの就学保障と行政の役割」

学校経営論　担当教員：篠原 岳司

教育を受ける権利を保障する学校とは?その法と制度、組織、統治、経営を問い直す

現代社会において、学校教育は私たち個人の成長発達に強い影響力を有しています。しかし、学校教育には様々な課題も指摘されています。学校が個人の自由権を侵害せず、すべての学習者の願いに応え、それぞれの教育を受ける権利を保障するためには、学校教育に関わる法と制度、人と組織、そして統治と経営の現実を問い直し、より良い学校のあり方・創り方を追究することが必要です。

北海道天売高等学校の訪問調査時
(教育基礎論調査実習)

●卒業論文テーマ：
「教育ICT環境の整備手法としてのBYOD」「運動部活動の外部化・総合型地域スポーツクラブとの連携」「校内授業研究における研究組織の機能」「コミュニティ・スクールにおける公共圏と熟議民主主義」「義務教育における私費負担軽減」

教育方法学

教授学を探究しよう! 学ぶ楽しさを明らかにしよう!

私自身は自然科学教育を中心に研究しています。ゼミでは、教授過程の基本構造を明らかにするため、教科教育の内容、教材、授業プランの研究開発、実験授業の分析方法の検討などをテーマに卒業研究を行います。

担当教員：大野 栄三

言語教育(外国語教育としての英語教育、国語教育)を中心に研究しています。現代の学問の諸分野からさまざまな教科の教育内容を抽出する方法の点から、「学問の学問」としての教授学の理論構築を行おうとしています。

担当教員：大竹 政美

●卒業論文テーマ：
「光の直進性に着目した中学校段階における光の学習」「翻案小説としての太宰治『走れメロス』の読みの指導」「中学校社会科公民的分野における社会的選択の指導に関する教材構成」

教育社会科学分野

個人の成長、地域の発展。
社会システムとしての“教育”を捉える。

生徒指導論　担当教員：浅川 和幸

**地域社会の現実から
進路指導・生徒指導・道徳教育の
課題を考える**

モノを考えることは旅することに似ています。最短距離を進む「移動」とは違った、考える旅の楽しさや豊かさを一緒に味わってみませんか。生徒指導論ゼミでは、北海道の厳しさを増す地域社会と学校の関係の中から、上記の課題に迫ります。

●卒業論文テーマ：
「高校生の地域アイデンティティと将来志向」「中学校における防災学習の位置づけの変化と生徒の防災意識ー洞爺湖有珠山ジオパーク地域を例にー」「ジャンプ少年団に所属する女子小中学生の活動と意識について」

教師教育制度論　担当教員：張 揚

**教員の生涯発達とそれを支える教師教育を
グローバルな視点から見る**

中国、日本、アメリカにおける教師教育制度と実態を研究しています。学校教員になるためにどのような力が必要ですか。その力をどこで如何に身に付けますか。また、教員になり、引き続き学ぶ必要性及び方法は何ですか。グローバルな視点から教員の成長と力量を保障する制度・政策を考え、その実態を探究します。

●卒業論文テーマ：
教員養成と教員研修をはじめ、教職活動全般、教員の生涯発達や学習プロセスなどの解明に関心があり、現場調査、国際比較などの方法で研究してみたい方を歓迎します。

産業教育　担当教員：上原 慎一

働くことと学ぶこと　この関連の全体像に迫る

いままで、たくさんの会社・工場・学校の調査をしてきました。働くことと学ぶことは、社会の深いところで、強く結ばれていると常々実感しています。

●卒業論文テーマ：
「公共職業訓練における女性の技能習得過程に関する一考察」「中国工業団地における日系中小企業の経営管理」「高校中退者の労働実態と経済的自立の可能性に関する一考察」

教育社会学　担当教員：上山 浩次郎

教育と社会の関連を解明する

教育と社会の関連を、特に教育と社会的不平等に注目して社会学的な立場から考えていくことが目標です。その際に、社会調査実践に基づきながらも理論的な研究となるよう努めることも目指しています。一緒に学びましょう。

●卒業論文テーマ：
教育に関して、社会調査などの「現実」を通して学ぼうとする方を歓迎します。

職業能力形成論　担当教員：駒川 智子

**職場のジェンダー平等を求めて
企業の人材育成に切り込む**

社会の「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業のもとで、日本企業では男性と女性のキャリア形成が大きく異なります。企業の労働内容、能力形成、評価、仕事と家庭の両立支援等について考察し、公正でやりがいのある職場づくりを探究しています。

ゼミでの発表の様子

●卒業論文テーマ：
「農家女性の労働と家庭生活ー『嫁役割』に着目して」「多様な働き方の可能性に関する一考察ー限定正社員に着目して」「コミュニティバスが担うまちづくりー当別ふれあいバスにおける官民共同」

社会教育学

**人が育つコミュニティを目指して
「もう1つの学び」の探求**

自分が押し潰されるような困難（ピンチ）を逆に社会と自分を作りかえるチャンスにしていくような学びの理論を、社会から排除されがちな人たちの実践の中に探っています。

担当教員：宮﨑 隆志

NPOや協同組合などを対象に、地域で福祉活動を担う人々の協同活動を通しての学びをテーマとしています。現代社会の縮図である地域で、一緒にフィールドワークしましょう！

担当教員：丸山 美貴子

●卒業論文テーマ：
「地域づくりの核としての図書館の可能性～地域と図書館の連携が生み出す効果とその意義～」「地域に基盤を置いた産業振興の必要性−都市一極集中に替わる持続可能な産業構造に向けて−」「地球市民教育（GCE）および持続可能な開発のための教育の課題と方法−NPO法人アイセック・ジャパンの海外ボランティア事業から−」

教育福祉論

**貧困・不平等に関する研究を通して
教育と福祉のあり方を考える**

子どもの貧困について研究しています。 編著書に「子どもの貧困」「子ども虐待と貧困」「子ども虐待と家族」、翻訳書に「貧困とはなにか」（いずれも明石書店）など。大阪府出身。冬山にあこがれ北大に入学。友人を得て単位を失う学生生活でした。

担当教員：松本 伊智朗

家族の中のお金＝家計の問題（教育費負担や各種支払いの滞納問題など）について実証的に明らかにし、こうした家計の問題と貧困との関係について考える研究を行っています。

担当教員：鳥山 まどか

●卒業論文テーマ：
「犯罪者処遇と社会的排除論の関係をめぐる議論の構造：更生保護制度の現状と課題を踏まえて」「児童養護施設で暮らした若者の高校後進学に関する一考察：施設による支援と進学後の生活に焦点を当てて」「大学生の貧困観についての調査報告」「必需品調査の検討：大学生を対象とした調査結果の分析から」

青年期教育論　担当教員：辻 智子

多様な実践から青年期と教育を問う

青年・若者に向けられる世の中の関心は社会のありようを映し出します。それらの関心とそれをめぐる動向を対象化しつつ、また具体的な地域実践なども手がかりとしながら、「人が育つこと」「大人になること」の様相をとらえ青年期の教育について考えます。教育・労働・福祉の相互の重なりやジェンダー／セクシュアリティの視点も大事にしていきます。

教育社会科学調査実習（2019年度）

●卒業論文テーマ：
「アロマンティックに関する一考察」「日本の学校と包括的性教育に関する考察ー家庭科実践の可能性に注目して」「働く母親を支えるものー労働環境・両立支援の現状と課題」

高等継続教育　担当教員：光本 滋

**自身にとっての意味と必要、他者にとっての
価値をつなぐ大学・学問の創造**

大学で学ぶことは、大学と学問をつくる主体になることです。国内国外、過去から現在までの人びとの工夫と努力、そして失敗を含む経験に学びながら学問・教育の自由と自治の課題についてともに考えていきましょう。

●卒業論文テーマ：
「学生生活費と奨学金」「平和教育論の考察」「W.S.クラークの教育理念・実践−マサチューセッツ農科大学から札幌基督教会誕生までの教育活動について」

教育心理学分野

乳幼児から青年、成人に至るまで。
心の領域から“育つ”ことを探求する。

特殊教育・臨床心理学　担当教員：安達 潤

**認知心理学・臨床心理学の視点から
知的障害・発達障害の人たちの理解と
支援を考える**

一般の子ども達と物の捉え方（認知）が違うために、場の空気が読めなかったり、他者との関わりや計画的な作業が苦手だったりする子ども達がいます。その困難さは彼らの心理的育ちに暗い影を落とすこともあります。彼らが眺める世界を理解し、彼らの体験に配慮した支援を一緒に考えてみませんか。

●卒業論文テーマ：
「算数文章題において困難を示す児童への学習支援の実践と検討」
「自閉症スペクトラム障害者に対する集団での自己認知支援の実践と検討」
「知的障害を伴うASD児への要求行動形成のための支援」

発達臨床論　担当教員：岡田 智

**子どもの成長や適応を支える
発達臨床実践へ！**

学校生活や対人関係上での不適応や、発達面でのアンバランスを抱えている幼児、児童、青年の理解と支援の方法について関心があります。発達臨床論ゼミでは、このような状況にある子どもや青年に関する心理や支援方法について学び、学生個人の興味・関心に沿って、調査研究、事例研究、実践研究などに取り組んでいきます。

●卒業論文テーマ：
「発達障害のある幼児における集団遊びの発達的意義に関する検討」
「社会性の困難を抱える大学生の被援助体験が被援助志向性に与える影響」
「通常学級の教員の合理的配慮による負担感に関する考察」

視知覚認知過程論　担当教員：河西 哲子

「一瞬」の心の働きを科学する

世界の事物や事象はどのように脳で処理され、瞬時に認識されるのでしょうか。またその過程は心身の状態や発達、学習によってどう変わるのでしょうか。実験心理学や心理生理学の方法論を学びながら、心の不思議を考えてみませんか。

実習での脳波実験準備

●卒業論文テーマ：
「グローバル・ローカル水準間の注意シフトの検討」「肯定的・否定的感情状態が認知に及ぼす選択的影響」「事象関連電位を用いた視覚的群化の検討」

学習神経心理学　担当教員：関 あゆみ

**脳機能の視点から
子どもの「学び」を考える**

「読む」「書く」「計算する」などが、どうしてもうまくいかない子ども達がいます。怠けているのでも能力がないのでもなく、学び方＝脳の使い方が他の人と少し違うのです。学習のつまずきを脳機能の視点からとらえることで、支援法について考えてみましょう。

●卒業論文テーマ：
「教示が試写における書字速度と判読性（legibility）に与える個人差の検討」「新しい正字法の学習における指導方法と音韻意識の影響」「事象関連電位を用いた視覚的ワーキングメモリにおける過去と現在の情報統合処理についての検討」

発達心理学　担当教員：加藤 弘通

問題のなかに発達の可能性をみる

私たちの研究室では、非行やいじめ、不登校、ひきこもり、自傷行為といった「問題」から思春期の発達について考えています。問題＝悪ものと考え、単にその解消を目指すのではなく、様々な「問題を可能にしている思春期の発達とはなにか？」ということを解明することが目標です。

夏合宿の様子

●卒業論文テーマ：
「友人関係における自己開示抑制について」「青年期における競技スポーツ世界への参入が発達に与える影響」「『将来の夢』を持っていないことをポジティブに捉える」「思春期における自我体験の特徴と人格形成の因果関係についての考察」「青年期におけるナナメの大人が与える影響」「青年期における重要な他者との信頼関係構築による関係性の再体制化」「プランニング方略が動機付けに及ぼす影響」

教育臨床心理学　担当教員：渡邊 誠

隠れた必要性に目を向けて

心理的な問題を抱える、主に青年期以降の人たちに対して、臨床心理学的な援助の実践と研究をしています。特に、高等教育機関における学生相談、セクシャルマイノリティ支援、および犯罪被害や虐待などによるトラウマの支援に興味があります。

卒論発表会写真

●卒業論文テーマ：
「大学生の『メンヘラ』当事者としての語りに関する考察」「性暴力被害者が親しい人とのかかわりの中で こうむる二次被害に関する考察」「Adult Children of Alcoholicsの『生きづらさ』と『回復・成長』について」

障害者臨床心理学　担当教員：松田 康子

**当事者に学び障害を抱えて
生き抜くことへの助力を考える**

ケアの場における利他とはどのような営みでしょうか。精神障害を抱える人にとって、地域で暮らすこと、学業に勤しむこと、生き抜くことへの助力とはどのようなことでしょうか。答えは一つではありません。個人の関わりから環境にまで視野を広げ、一緒に考えていきましょう。

ゼミ合宿調査写真集より

●卒業論文テーマ：
「聴者は『ろう者になじむ臨床』をいかに実践するか：手話通訳者の語りから」「『障害理解』はいかにして生じ、変容するのか：子ども達の「みんなで楽しむ」福祉授業実践から」「障害のある人の『障害』の語りの生起過程及び変化に関する検討」

乳幼児発達論　担当教員：川田 学

**子どもの発達と
保育・教育実践との関係をさぐる**

人生のはじまりである乳幼児期の発達を、家庭や保育園・幼稚園といった実践の現場と切り離さないで研究するには何が必要でしょうか。子どもの発達を解明したい人、保育や幼児教育の実践を思索したい人、親や保育者や子育て支援者の話がききたい人、一緒に学びましょう。

発達系ゼミの夏合宿の様子

●卒業論文テーマ：
「幼児教育文化への参加と幼児コミュニティの変容：運動会における〈よさこいソーラン〉の参与観察」「母親と子どもの共変化過程における支援者の関わり：2歳児のための森の幼稚園での活動を通して」「幼児における『ひとり遊び』の過程」

言語発達論　担当教員：伊藤 崇

子どもの生活を言語という観点からとらえなおす

家庭や幼稚園、小学校などで、子どもが周囲の人々と行うコミュニケーションを研究しています。例えば、親子の何気ない会話の中には、子どもが言葉の使い方を身につける上で重要な秘密が眠っています。その秘密を解き明かすのがこのゼミの最終的な目標です。

●卒業論文テーマ：
「母子関係と相互の呼称の関連についての一考察」「中学生における成績非開示傾向を及ぼす要因の検討：自己評価・他者評価予測・評価懸念に注目して」

学習・授業論　担当教員：守屋 淳

**子どもの学びのあり方を問う、
それを支える教師のあり方を問う**

皆さん自身が今までに経験されてきた授業のイメージをいったん白紙に戻してください。実際に行われている優れた授業から学び、子どもたちが一人残らず生き生きと学ぶ授業とはどのような授業なのか、そのために教師はどうあるべきなのか、ということを中心に考えていきましょう。

小学生に朗読を指導する

●卒業論文テーマ：
「『からだとことばのレッスン』を通して見える自己のあり方とその教育的背景」「文学の授業としての夏目漱石『こころ』の研究」「多様な読みを生かす文学の授業の研究」

福祉臨床心理学　担当教員：井出 智博

**生きづらさを抱える子どもや若者の
暮らしと育ちを支える**

児童虐待や喪失体験，機能不全を抱える家族との生活，被災や被害体験など生い立ちの中で困難さを経験してきた子どもや若者に対する心理的，福祉的支援に関する実践，研究に取り組んでいます。またそうした困難さの否定的影響だけではなく，困難を乗り越えることの心理的成長についても注目して取り組んでいます。

ゼミの様子

●卒業論文テーマ：
生い立ちの中で様々な困難を経験してきた子どもや若者への心理的，福祉的支援についての理解を深めたい方，また将来，関連する領域の実践や研究に取り組んでみたい方を歓迎します。

認知・動機づけ論　担当教員：大谷 和大

社会的に構築される学習動機づけの探求

動機づけは「やる気」の学術用語で、人の行動を理解する上での重要なキーワードです。本研究室では、教育心理学、認知心理学、パーソナリティ心理学の手法に基づき、動機づけの個人差やそれを規定する要因、そして動機づけが何を予測するのかを児童・生徒の社会的文脈（学級風土など）に注目しながら探索しています。また、メタ認知など学習をより高次なものにする思考についても研究しています。

●卒業論文テーマ：
児童・生徒の動機づけや学習方法、仲間関係、パーソナリティなど幅広いテーマについて実証的に研究したい方を歓迎します。

健康体育学分野

身体の可能性。健康の意味。
人間の可能性を身体から探る。

身体文化論　担当教員：池田 恵子

スポーツ文化をバックグラウンドから炙り出す

ヨーロッパを中心に13か国以上の国を訪れて、スポーツ文化のルーツについて考えてきました。2度にわたるイギリスでの長期滞在が教育研究上の自らの関心を刺激し続けています。

●卒業論文テーマ：

「ヴィジュアル・ターンからみたスポーツ史研究の可能性―『ヴィクトリアン・パンチ』にみるクローケー、ローンテニス、フットボール」
「藤村トヨ著『学校体育論』(昭和5年)の研究―大正自由体育からファシズムへの連鎖再考」
「エクストリーム・スポーツとは何か?―メディア、消費社会、神話性の観点を中心に」

体育方法　担当教員：崎田 嘉寛

「速く走りたい！」という
子どもの素朴な希望に寄り添いたい

スポーツや運動は大好きだったけど、学校の体育の授業は苦手だった経験が、研究を志したきっかけです。学校に限らず、スポーツ現場、社会や家庭での体育的な事象、そしてこれらに携わる人たち、すべてを対象にさまざまな方法を駆使して調査や研究をしています。からだを動かすことが得意でない人こそ歓迎します。

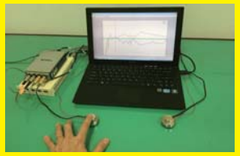
●卒業論文テーマ：

日本や世界、過去から現在までの体育・スポーツ実践について理解を深めたい方、体育方法的、身体論的な手法を用いつつも、包括的な視点を背景に教育について研究してみたい方を歓迎します。

身体運動支援システム論　担当教員：阿部 匡樹

身体を動かすその不思議に迫り、
支える仕組みを考える

ヒトの知覚－運動システムの仕組みには驚かされるばかりで、飽きることがありません。イグノーベル賞のように「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる」研究が目標です。



身体や運動、知覚、意思決定などに関して、日常やスポーツなど様々な場面で疑問に思うことを実験的に検証していきたいと思います。

●卒業論文テーマ：

「視線とパーソナリティの関係：どんな人が、会話中に相手の目を見るの?」
「運動経歴が空間認識能力に及ぼす影響　～身体・図形のメンタルローテーション課題を通して～」

福祉スポーツ論　担当教員：山﨑 貴史

スポーツと障害のある身体を考える

障害者スポーツを研究しています。スポーツを研究するというと、スポーツを通して「できるようになること」を中心に考えます。しかし、このゼミでは障害のある「できない」身体の大変さや創造性から、スポーツや私たちの身体のあり様をもっと自由に考えてみたいと思います。

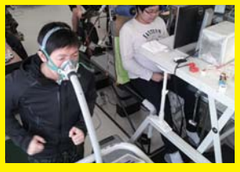
●卒業論文テーマ：

スポーツについて考えたい方はもちろんですが、スポーツに興味がないけれども、身体や社会学に興味があるという方も大歓迎です。

運動生理学　担当教員：柚木 孝敬

運動する身体の“知恵と賢さ”の魅力に迫る

私たちは、身体運動の仕組みを主として生理学的方法を用いて研究しています。身体運動の発現や持続を支えるメカニズム、運動パフォーマンス、疲労などが研究の対象です。運動やスポーツに興味のある方は、運動生理学実験室を訪ねてください。



●卒業論文テーマ：

「高強度運動時における呼吸と疲労の関係」「短時間全力運動に対する換気応答に関する研究」「クレアチンローディングが運動時緩衝能に与える影響」

生活健康学　担当教員：山仲 勇二郎

生物時計の仕組みから
こころとからだの健康を考える

当研究室では、私たちのからだに備わった生物時計の仕組みを追究する「時間生物学」を学びます。生物時計は、ヒトの睡眠覚醒・生理機能に約24時間リズムを発振し、昼間に十分活動し、夜間に質のよい睡眠を得られるように体内環境を制御しています。時間生物学、睡眠科学、生理学を基盤に健康について幅広い視点で考えられる人材の育成を目指しています。

●卒業論文テーマ：

「夜間の低強度短時間運動が睡眠に与える影響」「咀嚼による糖代謝能の改善とその概日リズム」

卒業生の進路

卒業生の進路状況 （2017～2019年度） 卒業生170人中

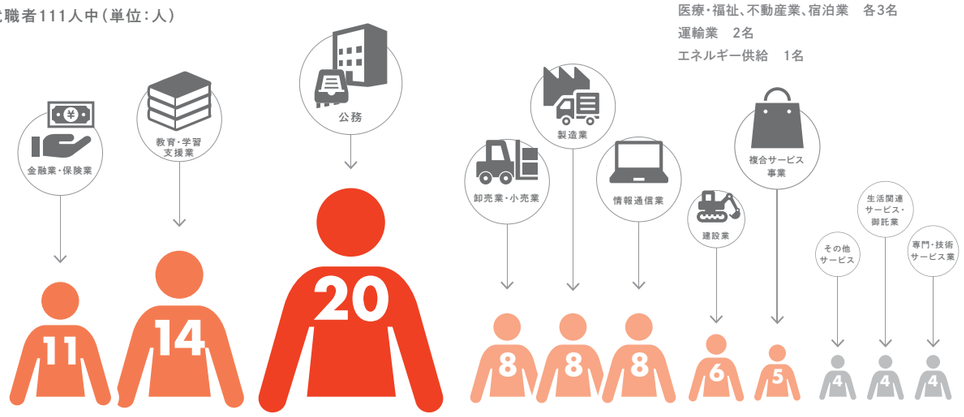
内訳：平成29年度／61名　平成30年度／62名　令和元年度／47名

	就職者	進学者	その他
平成29年度	38名	17名	6名
平成30年度	39名	16名	7名
令和元年度	34名	8名	5名

就 職　employment

産業別就職者数（2017～2019年度）

就職者111人中（単位：人）



その他

医療・福祉、不動産業、宿泊業　各3名
運輸業　2名
エネルギー供給　1名

近年の卒業生の主な就職先（2017～2019年度）

【教員】遺愛女子中学・高等学校、青翔開智中学校・高等学校、札幌市立あいの里中学校、国立大学法人北海道大学、宮城県石巻市立稲井中学校、沼津市立太平中学校、北海道真駒内養護学校、高等学校（未定）、株式会社日本入試センター　【教育・学習支援】株式会社ナガセ、ベネッセコーポレーション、学校法人高宮学園（代々木ゼミナール）、秀英予備校　【公務】札幌入国管理局、経済産業省、厚生労働省、北海道財務局、文部科学省、札幌家庭裁判所、浦幌町役場、札幌市役所、美瑛町役場、深川市役所、北海道教育委員会、北海道職員、帯広市役所、津市役所、北海道出納局、東京都特別区心理職　【医療・福祉】社会福祉法人黒松内つくし園、社会福祉法人わらしべ会、べてるの家　【金融・保険業】北洋銀行、北海道信用農業協同組合連合会、三井住友銀行、旭川信用金庫、日本政策投資銀行、三井住友信託銀行、株式会社商工組合中央金庫、アフラック、東京海上日動火災保険株式会社、日本生命保険相互会社、ソニー生命保険株式会社　【卸売業・小売業】アマゾン、株式会社イオン北海道、株式会社ニトリ、大丸株式会社、アスクル株式会社、株式会社赤ちゃん本舗、株式会社ニトリ、株式会社フクヤ　【製造業】株式会社東洋経済新報社、ヤマハ発動機株式会社、新日鉄住金株式会社、住友理工株式会社、ダイキン・コンシューマ・マーケティング株式会社、住友大阪セメント株式会社、凸版印刷株式会社、トヨタ自動車株式会社

（前ページより）

【情報通信業】株式会社NTTデータMSE、読売新聞社、鈴与シンワート株式会社、NECソリューションイノベーター、セプテーニ・ホールディングス、北海道新聞社、株式会社リンクス、アジアクエスト株式会社　【建設業】株式会社井上技研、五洋建設株式会社、竹中工務店、鹿島建設株式会社、三機工業株式会社、森の木建築工房株式会社　【複合サービス業】株式会社I&S BBDO、株式会社共立メンテナンス、リクルートキャリア、レバレジーズ株式会社、リオ・ホールディングス　【その他サービス】株式会社CDG、株式会社パソナ、株式会社CBホールディングス、リージョンズ株式会社　【生活関連サービス・娯楽業】株式会社コミックス・ウェーブ・フィルム、北海道放送HBC、DMM.com、株式会社JTB　【専門・技術サービス業】株式会社アド・ビューロー岩泉、一般社団法人金融財政事情研究会、アクセンチュア株式会社、オカモトグループ　【不動産業】株式会社ハプティック、住友不動産販売、藤井ビル株式会社　【宿泊業】株式会社星野リゾート・マネジメント、星野リゾート、北こぶし知床ホテル&リゾート　【運輸業】ANA新千歳空港株式会社、株式会社AIRDO　【エネルギー供給】北陸電力株式会社

さまざまな場所で社会に貢献する卒業生

学校の教員をはじめ、様々な分野に就職する人、進学する人。
教育学部卒業生の進路は多様です。

教　員

教員になる夢に向かって
仲間と全力でチャレンジした場所

山田 若奈さん 体育方法ゼミ（2013年度卒業）
勤務先 ： 札幌市立丘珠中学校 保健体育科 教諭

【仕　事】

保健体育科教諭として、男女共修で全学年の授業を担当しています。現在は中学3年生の担任。女子バスケットボール部の顧問です。

中学生の時からずっと中学校教諭になりたいと思っていました。高校の先生から、北大教育学部でも教員を目指して学べると勧められたのが北大を目指すきっかけです。卒論では定期的に小学校に訪問して授業分析を行い、「よい体育授業」をつくるために教師に必要なことは何かを考えました。授業のお手伝いをする中で、実際に現場を体験して学べたことが心に残っています。

北大教育学部では、教員になるための勉強だけではなく、教育について様々な角度から学ぶことができました。1人の子ども、1つの物事に対していろいろな見方ができるようになったことが、現在とても役立っています。

勤務する中学校は、規模が小さいため一人ひとりの仕事量は多いですが、経験年数が浅いうちからいろいろなことを任せていただいていて、やりがいは大きいです。授業を通して子どもたちに運動の楽しさと価値を伝え、ずっと運動に親しみたいという子どもを育てたいと思います。また、子どもたちがワクワクしながら学校に来て、いろいろな人・ものと出会い、たくさんのチャレンジを通して自分で生きていく力が伸びるように成長を支える存在になりたいです。

「夢に向かって全力で！」中学校時代の恩師の言葉です。この言葉を胸に努力してきた今、夢をもち、それを叶えるために「今」できることに全力を尽くせば、チャンスは必ずやってくることを実感しています。そして、チャンスをつかむために大事なのは出会いと経験を大切にすることだと思います。北大には素敵な出会いがあふれています！ 自分からチャレンジし続ければ、たくさんのかけがえのない経験もできます。それを自分の財産にできるかどうかは自分次第です。

※本稿は2019年3月の情報で構成しています。

企　業

仲間との議論で得た
一生物の「考え」
現場に活かしながら学びを深める

粟津 美沙さん 青年期教育論ゼミ（2018年度卒業）
勤務先 ： 株式会社ベネッセコーポレーション　学校カンパニー

【仕　事】

高校生の進路実現のための学校支援を行っています。高校の先生方が抱えている指導上の課題をヒアリングし、他校の指導事例や必要な進路情報、自社教材を紹介しています。

北大教育学部にいた当時、教育について抱いている違和感や課題意識について、仲間と徹底的に議論できるゼミの時間が大好きでした。例えば私は高校生の頃「なんのために勉強しなければならないのか」と思っていましたが、周囲からは「勉強するのは当たり前」という反応が返ってくるだけでした。北大教育学部ではそういった違和感に対して様々な意見をもつ人と議論でき、「なぜ勉強をするのか」という問いを深めることができました。

学びの集大成となる卒業論文では、学校の進路指導がいかに生徒の進路選択に影響を及ぼすか、高校の現場と卒業生へのインタビューから明らかにしました。

卒業後の進路を考える際に、卒業論文のテーマであった「高校生の進路選択」について、実際の教育現場でもっと研究したいという思いから、現在の会社への就職を決めました。

仕事では多様な教育観を持ち、様々な状況にある方々とお会いします。「自分の教育観」を持った上でお話できるのは教育学部での経験と学びがあったからこそ。生徒の進路実現に少しでも力になれたと思えた瞬間には大きなやりがいを感じます。

北大教育学部は、自分が特別に興味や違和感を抱いている、世間では「当たり前」とされる事柄について、仲間と徹底的に議論し研究できる場所です。そして自分の中に形成される「考え」は一生の宝物。ぜひ「自分は何に心をひきつけられるのだろう?」と問いかけながら進路を選び、大学とその先の進路を選んでほしいと思います。

多岐にわたる就職先

卒業生の就職先は多様で、
教師を始めとする教育に関わる専門的な職業だけでなく、
公務員や一般企業を選ぶ人もいます。最近では、
一般企業を選ぶ人が主流になっていて、
人材育成を始めとした人事・総務の部門に配属されることが多くなっています。

地 域

学びとは何かを捉え直した学生時代
研究を裏付けに地域教育の実践に挑む

古賀 詠風さん 社会教育ゼミ（2019年度卒業）
勤務先 ： 浦幌町役場　浦幌町地域おこし協力隊
うらほろスタイル・学校と地域連携担当

【 仕　事 】

高校がない浦幌町で、中高生たちが浦幌町のためにできること・やってみたいことに挑戦する「浦幌部」のサポート・伴走を中心に、中高生の体験や学びのサポートをしています。「浦幌部」の活動は、中学生の「町の絵本の制作」、高校生の「地域の祭りやイベントへの参加・出店」「町の映像制作」などです。

北大入学後、教員を志望して教育学部に進みました。しかし学生時代に参加した教育系のNPOの活動で全道の高校を訪問したことや、教育学部で「教員」や「学校教育」にとどまらない広義の教育について学ぶ中で、学校に限定されない、様々な人との関わりの中で人が学んでいくことに興味を持ちました。

教授に島根県の海士町という離島に連れて行っていただいたことも得難い経験です。学校と地域が連携して子どもたちが学ぶ環境をつくる「教育魅力化プロジェクト」を視察し、現地の人の話を伺ったり、実際に現場を訪問したりして、学びを深めました。

現在は浦幌町地域おこし協力隊の一員として、町内の学校とも連携しながら、学校の外での教育実践に挑んでいます。その裏付けとなっているのが、他でもない教育学部での研究です。町の子どもたちが、社会に関わる楽しさを感じながら活動する様子をみられることにやりがいを感じます。北海道の地方の町から、日本をよりよくしていくための動きや流れに関われているという実感があります。

学内外で多くの人と出会い、実際に現場を訪れアクションを重ね、学びを広げ深めれば、自分の常識が揺れ動くような素敵な経験を積めると思います。高校生活を通して、そしてぜひ北大教育学部に入って、自ら探究を進めてみてください。

専門職

一人ひとりの生きてきた軌跡に思いを巡らし
生きにくい人を支える専門家を目指す

前田 湧介さん 教育福祉論ゼミ（2017年度卒業）
勤務先 ：札幌保護観察所

【 仕　事 】

保護観察官は、犯罪をした人の社会復帰のために、指導・監督を行う専門家です。今は保護観察官になるための下地作りとして、研修の企画・運営や会計業務に従事しています。

大学入学前から、悩みを抱える子どもたちの力になりたいという思いから臨床心理士を目指していました。北大教育学部を選んだのは、人々の生きにくさを様々な視点から考えることができると知ったからです。

教育学部で学ぶうちに、心理学に加えて、社会学が好きになりそちらを主に学ぶことにしました。そこで興味を持ち始めたのが、保護観察官という仕事です。犯罪をした人は、社会にとって困った人であると同時に、自身が悩み困っている人でもあります。

保護観察官は、社会学と心理学の双方からそのような人たちにアプローチできる仕事です。今は見習いのような立場ですが、犯罪をした人たちの人生に寄り添うことで、再犯を防いで社会を明るくできるような保護観察官になりたいです。

北大教育学部では、「人の生き方」をとことん考えようとしている人たちとたくさん出会い、様々な刺激を受けました。やりたいことが決まっている人はもちろんですが、自分の生き方に迷っている最中の人にも多くの学びがあるはず。ぜひ北大教育学部に来て、そのモヤモヤを解消してほしいです。

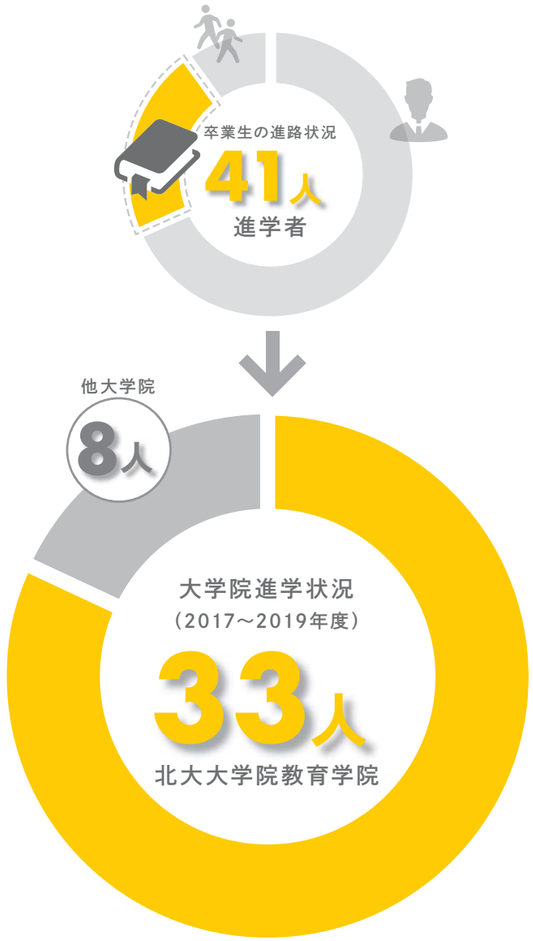
進 学　graduate school

さらに深く教育学を学び研究する

北海道大学大学院教育学研究院・教育学院

大学院では、社会の変動に伴うニーズに機敏に反応するために、研究組織としての教育学研究院と、教育組織としての教育学院からなる体制で、研究と教育を進めています。

大学院進学状況 （2017～2019年度）



大学院の組織構成

研究組織

教育学研究院 ＞ 教育学部門

教育社会科学、教育基礎論、教育心理学、健康体育学の4つの分野と、附属子ども発達臨床研究センターから構成されています。

- 教育社会科学分野
- 教育基礎論分野
- 教育心理学分野
- 健康体育学分野
- 附属子ども発達臨床研究センター

＋

教育組織

教育学院 ＞ 教育学専攻

教育の倫理的および実践的課題を探求する研究者と教育に関する高度な知識を持った専門職業人を養成することを目的としています。修士課程と博士課程があり、下記の8つの講座から構成されています。

- 学校教育論講座
- 生涯学習論講座
- 教育社会論講座
- 教育心理学講座
- 臨床心理学講座
- 健康教育論講座
- 身体教育論講座
- 多元文化教育論講座

大学院教育学院で指導にあたる
教育学研究院以外に所属する教員の紹介

教育学院で探求する内容は多岐にわたるため、教育学研究院だけでなく、
北大内の他の研究院、機構に所属する教員とともに各講座が運営されています。

生涯学習論　飯田 直弘

高等教育の国際比較が専門で、特にイギリスと日本を中心とする入試制度（資格制度）の国際比較に関心があります。現在は、国際的な資格（能力）認証・評価枠組みに基づく大学入学者選抜方法の開発に関する研究に取り組んでいます

多元文化教育論　土田 映子

アメリカ合衆国の移民の社会的・文化的適応過程や、集団的・地域的アイデンティティの形成などを研究しています。多文化社会における教育のあり方や役割、国民や民族集団のアイデンティティやイメージの形成に関心をもっています。

教育社会論　亀野 淳

学校（特に大学）での勉強と社会に出てからの仕事との関連について研究しています。大学院を担当していますが、全ての学部1、2年生を対象としたキャリア教育なども担当しています。

多元文化教育論　寺田 龍男

中世のドイツと日本における文芸と社会の関係を対比して研究しています。

多元文化教育論　青木 麻衣子

オーストラリアの教育政策・制度を研究しています。多文化主義を国是とする同国が、国内の多様性と国家としての統一性にいかに折り合いをつけているのかに興味があります。

多元文化教育論　ブンティロフ・ゲオルギー

日本とロシアのメディアにおける「我が国」と「他国」を議論する言説の分析を国民と地域アイデンティティに基づいて研究しています。特に日本とロシアの辺境における報道とそれぞれの国家レベルの報道の比較分析に興味を持っています。

多元文化教育論　ジェフリー・ゲーマン

質的調査を通じたアイヌ民族の教育や文化伝承を中心に研究をしていますが、マイノリティ研究、多文化共生、異文化間理解教育、言語復興といった北海道、日本、世界的な課題も視野にいれています。

北大教育学部から大学院教育学院へ進学

自分が抱いてきた疑問を解決していく ワクワクできる研究

吉武 もにかさん 教育臨床心理学ゼミ（2019年度卒業）
北海道大学大学院教育学院（修士課程2年）

3年次編入で北大教育学部に入学しました。きっかけは、他大学在学中に塾のアルバイトと生活保護受給家庭を対象とした学習指導員の有償ボランティア通して様々な境遇の子どもたちに関わったことです。子どもたちの置かれている境遇の不平等を感じ、子どもの貧困や心理的ケアについて多角的な視点から学びたいという気持ちが強くなりました。

念願の編入が叶い、卒論では家族関係についての研究に取り組みました。大学院に進学してからもそのテーマを引き継ぎ、親子関係に葛藤を抱えた青年が、一人暮らしをした後で親子関係をどのように捉え直していくのかを研究しています。

北大の教育学院は臨床心理士の受験資格が得られる第1種指定大学院。将来の選択肢が広がるという点でもともと魅力を感じていましたが、実際に大学院への進学を決めたのは3年次の夏頃です。心理学の勉強以外にも必修科目や課題に追われてあわただしく時間が過ぎていく中で、訓練や実習の環境が整った大学院で心理の専門性を磨きたいと考えました。研究では、インタビューを通して自分では経験したことのない話に触れ、生き方や家族に対する自分の考え方の幅が広がっていくことに醍醐味を感じています。こうして拾い上げた個人の生き方や考え方が誰かの役に立てば、という想いを抱きながら、修士課程修了後は心理士の資格を活かして児童発達支援を行う民間の会社で働きます。

私は2度の大学受験、編入試験と3度の挑戦を経て北大教育学部で学び、大きな幸せを感じています。高校生の皆さんも一度きりの人生、失敗を恐れずに自分のやりたいことにどんどん挑戦してください！

◀ 卒業論文の発表会

ゼミのノート▶

北大教育学部→大学院教育学院→研究者に

多様な専門領域に触れ広げた見識が 研究者としての自分を形作っています

及川 智博さん 乳幼児発達論ゼミ（2013年度卒業）
北海道大学大学院教育学院修士課程（2015年度修了）
勤務先：名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科　講師

【仕　事】

4年制大学の教員として、主に幼稚園教諭・保育士を目指す学生に対し講義や実習指導を行っています。また、ときどき保育・幼児教育の現場にお邪魔して、調査研究を実施したり、現場の相談を受けたりしています。

他の国立大学で小学校の教員を目指していたのですが、もっと人間のこころとその発達について考えてみたくなり、北大教育学部に3年次編入しました。

教育学部は、同級生のみならず、先輩・後輩・先生との関係が近い学部です。そうした環境の中で、他の学問領域を専攻している人たちから話を聞いたり、一緒に読書会をしたりしたことが強く印象に残っています。研究や講義をするなかで、そこで得た広い視野が今の私を形作っていることを実感しています。

現在の研究のテーマの1つが、幼児期の友達関係の発達です。幼児といえども、実はなかなかシビアな人間関係に悩みつつ、園生活を過ごしています。そうした、初めて家族以外の他者と暮らす保育施設の中で築かれていく友達関係、またそれを支える大人の役割に関心をもって研究を進めています。現場の皆さんと手を取り合い、よりよい保育・教育のあり方について考えていければと思います。

北大教育学部は、色々な領域の教員からじっくりと話を伺い、自分がどんなことに興味関心があるのかを深く追求できる場所です。ぜひ、北大教育学部でしか味わえない学びを経験していただければと思います。

環太平洋乳幼児教育学会 ▼

▲調査用カメラとノート

資格について

Q&A

Q1 北大教育学部で取得できる教員免許状の種類を教えてください。

取得できる免許状は以下の通りです。

1）高等学校教諭1種免許状（地理歴史、公民、保健体育）
2）中学校教諭1種免許状（社会、保健体育）
3）特別支援学校教諭1種免許状

Q2 北大教育学部と教育大学（教員養成系大学・学部）とは、どこが違うのですか？

北大教育学部では上記の教員免許を取得することができますが、その教育内容は、教員養成を主目的としている教員養成系大学・学部とは違います。北大教育学部を卒業すれば教員免許が取得できるという教育内容ではありません。学部の専門教育以外に、教職に関する科目などを履修しなければなりません。
北大教育学部では、「教育」に関わる様々な領域で活躍できる人材を育てるため、「教育」について広く深く探究しています。こうした研究成果を学ぶことを通して、教員として活躍している卒業生も少なくありません。

Q3 教員免許状を取るのは大変でしょうか？

4年間での学習において、中学校教諭1種免許状や高等学校教諭1種免許状を取得する場合、以下の1～6を合わせて59単位、特別支援学校教諭1種免許状の場合、それに加えてさらに26単位を取得する必要があります。それらの一部（約30単位）は、卒業単位に含まれませんから、決して楽ではありません。たとえば高等学校教諭1種免許状を取得する場合、学部の卒業単位以外に、以下の単位修得が義務付けられています。

1. 教科及び教科の指導法	28単位
2. 教育の基礎的理解に関する科目	10単位
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位
4. 教育実践に関する科目	5単位
5. 大学が独自に設定する科目	12単位
6. その他の必修科目	8単位

教職科目の開講時間は主に1講時と5講時になっており、学部の専門もしっかり学ばなければなりません。

Q4 北大教育学部では、毎年どのくらいの学生が教員免許状を取得しますか？ また、実際に教員に採用されるのは何人くらいいますか？

年度によって差がありますが、高校、中学、特別支援を合わせて免許状取得者は20名程度です。そのうち、大学卒業と同時に公立学校の教員として教職に就いているのは5名程度です。また、卒業後に、大学院修士課程に進学し、専修免許状を取得してから教員採用試験に臨む人や、非常勤の講師として学校現場で働きながら採用試験を受け、正規の教員となる人もいます。教員採用試験の動向が変化しており、より高学歴化・即戦力化が求められるようになっています。

Q5 公認心理師や臨床心理士の資格を取れると聞いたのですが。

教育学部では「公認心理師受験資格」を取ることができます。学部では2018年度から公認心理師受験資格に対応したカリキュラムを編成しています（心理実習など一部の授業で履修定員があります）。教育学部で所定の単位を修得した後は、大学院で公認心理師の所定のカリキュラムを修めるか、卒業後、一定期間、心理師としての実務経験を積むことで、国家試験の受験資格が得られます。「臨床心理士」の受験資格は大学院臨床心理学専修コースで所定の単位を収め、大学院を修了したのちに得ることができます。

Q6 北大教育学部で学ぶ心理学の特徴は何ですか？

北大教育学部では、教育的事象を広く研究対象にして、教育を科学することを目指しています。心理学では主に教育心理学、臨床心理学といった領域で研究を行っていますが、研究対象は乳幼児から青年・成人まで、研究方法も実験や調査などの基礎的なものから観察や聴き取りなど臨床的な面を重視するものまで様々です。心理学という学問にはいろいろな領域がありますが、教育という事象を心理的な面からいかに捉えるか、という視点から様々なアプローチをしています。

Q7 幼児教育関連の資格は取れますか？

幼稚園教員免許状の取得はできません。保育士資格についても、資格取得カリキュラムはありません。しかし、例年、国家試験による保育士資格試験を受験し、卒業までに保育士資格を取得し、保育士等として就職する学生もいます。

Q8 社会教育主事・社会教育士について教えてください。

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門職員で、住民の自主的な学びや社会教育施設における学習実践をサポートし、人が育つ地域社会をつくるためのコーディネーターの役割を担っています。社会教育主事課程に定められた講義を履修することによって任用資格が得られます。この資格があれば自治体に就職した後に、必要に応じて社会教育主事として発令されます。また、社会教育に関する科目の必要な単位を全て修得すると、社会教育士（養成課程）と称することができます。

Q9 このほかに北大教育学部で取得できる資格にはどんなものがありますか。

社会福祉主事、児童福祉士、学芸員の資格を取得することができます。

入試案内・オープンキャンパス

入試案内

入試形態		日　程		募集人数	
一 般 選 抜	学部別入試	前期日程	2月 25日	20人	
		後期日程	3月 12日	10人	
	総合入試文系	前期日程	2月 25日	95人	（うち教育学部への移行定員20人）
国際総合入試	総合入試文系	10月上旬	募集要項は5月下旬に公表予定	5人	
私費外国人留学生入試		2月中旬	募集要項は10月上旬に公表予定	若干名	
帰国子女入試		11月下旬	募集要項は6月下旬に公表予定	若干名	

問合せ先
https://www.hokudai.ac.jp/admission/
北海道大学学務部入試課 ： 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目　TEL: 011-706-7484

入試形態	日　程	募集人数
3年次編入学・転部試験	11月下旬 ※募集要項は8月に公表予定	10人

問合せ先
https://www.edu.hokudai.ac.jp/（前年度の募集要項および筆記試験問題を北大教育学部のウェブサイトで公開しています。）
北海道大学教育学事務部教務担当 ： 〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目　TEL: 011-706-3494

オープンキャンパス

日時 ： 8月上旬の日曜・月曜

進学を希望する学生や、その保護者を対象に教育学部教員によるカリキュラムや学生生活などについての説明会が開かれます。数名の教員と個別に相談する機会も設けられますので、是非ご参加ください。なお、北海道大学札幌キャンパス全体のオープンキャンパスも同じ日程で開催されます。

オープンキャンパスについての参加方法と詳細はこちら

教育学部ウェブサイト
https://www.edu.hokudai.ac.jp/
北海道大学教育学事務部教務担当　TEL: 011-706-3494

オープンキャンパスで待っています！

北海道大学 教育学部
発 行 ： 2021年３月　編 集 ： 北海道大学大学院教育学研究院・教育学院・教育学部 社会連携委員会
問い合わせ先 ： 北海道大学教育学事務部教務担当　〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 7 丁目　TEL : 011-706-3494

※本冊子に掲載されている情報は 2021 年 3 月現在のものです。
※変更する可能性がありますので、ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

Hokkaido University

関連施設案内図

Campus Map

北海道大学 教育学部

住 所 ： 〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

最寄り駅のご案内 ： JR　札幌駅下車　徒歩15分
地下鉄　南北線 さっぽろ駅下車　徒歩15分
南北線 北12条駅下車　徒歩 7分

「人が育つ社会」のグランドデザインを描く

教育学研究院　附属子ども発達臨床研究センター

附属子ども発達臨床研究センターは、発達に関する基礎研究と臨床・実践研究を結び付け、「人が育つ社会」のグランドデザインを描くことを目的としています。発達と教育に関わる多様な領域の研究者・実践者の交流を促進し、様々な支援方法の開発研究にも取り組んでいます。本センターの前身は、乳幼児発達臨床センター（1978年設置）であり、乳幼児発達に関する基礎的研究と教育実践を展開してきました。2006年に現在の名称に変更し、2014年度からは子ども発達支援研究部門・子ども臨床研究部門・教職高度化研究部門の三部門体制で研究を推進しています。